

## 報 告 事 項

<b>人員配置等</b> (令和6年4月1日時点)	事業所名	日中サービス支援型指定共同生活援助事業所 にじいろホーム瀬戸
	利用者定員	20人
	開所年月日	令和4年11月1日
	日中の世話人と生活支援員の人数及び平均勤続年数	世話人： 7 人(平均勤続年数3.8 年) 常勤換算 3.56 人 生活支援員： 6 人(平均勤続年数 4.1年) 常勤換算 3 人
	夜間の世話人と生活支援員の人数及び平均勤続年数	世話人： 3人(平均勤続年数 3.7 年) 常勤換算 1 人 生活支援員： 5人(平均勤続年数 4 年) 常勤換算 1.25人
<b>利用者の状況</b>	障害者支援区分の内訳(※令和6年4月1日時点)	非該当： 人 区分1： 人 区分2： 人 区分3： 4人 区分4： 9人 区分5： 5人 区分6： 2人
	主な障害種別(それぞれの日中GHで過ごす人の人数)	身体： 1人( 人) 知的： 11人( 人) 精神 8人( 人) 難病等 人( 人)
	年齢構成・性別	20歳未満： 0人(男： 人・女： 人) 20代： 6人(男： 4人・女： 2人) 30代： 3人(男： 2人・女： 1人)40代： 3人 (男： 2人・女： 1人) 50代： 7人(男： 2人・女： 5人) 60代： 1人(男： 1 人・女： 人)
	医療的ケアの必要な利用者の人数(※令和6年4月1日時点)	0 人
	強度行動障害のある利用者の人数(※令和6年4月1日時点)	1 人
	令和5年度 新規入所者数と退所者数	入所者： 1 人 退所者： 1 人
	高知市の支給決定者数と高知市外の支給決定者数(※令和6年4月1日時点)	高知市： 15 人 高知市外： 5 人
	令和5年度 短期入所の定員数、実利用者数、延べ算定回数	定員数： 2 人 実利用人数： 6 人 延べ利用人数： 568人
	計画相談支援について	別法人の計画相談による作成： 12 人 自法人の計画相談による作成： 8 人
		セルフプラン： 0人 ケアプラン： 0人

事業所の特徴	事業所の運営方針	具体的な内容 安心と尊厳のある生活を守り、一人ひとりにあった生活を実現できるよう努め、利用される方が主体的な決定を行えるよう支援し、その決定を尊重します。
	事業所として特に大事にしていること	具体的な内容 各種相談、身体介助、生活援助を行いながら、安全な環境で安心して生活して頂ける体制を整えています。
常時の支援体制の確保	日中、夜間、土日を含めた常時の支援体制の確保について	具体的な内容 夜間は1フロア1名、計2名の職員が勤務しており、日中、夜間を通して常時の支援体制の確保ができています。
支援の質の確保について	職員の資格取得状況	具体的な内容 看護師、介護福祉士、実務者研修の資格を有する職員が在籍しています。
	令和5年度 職員の質の向上について (内部研修, 外部研修への参加, その他)	具体的な内容 毎月、全職員がオンライン研修を受講し報告書を提出しています。 新入社員はそれとは別に月1回1年間研修、報告書の提出があります。 虐待、身体拘束については今年度、二回外部講師を招いて研修を行いました。
	令和5年度 苦情及びヒヤリハットの件数	苦情件数: 1件      ヒヤリハット: 4件
	苦情やヒヤリハットの対応例	具体的な内容 転倒によるものやが多く、見守りや声掛け、動線の確保を行い、装具の提案を行いました。

	<p>重度化・高齢化等で日中をホーム内で過ごす利用者への支援はどのようにしているのか。</p>	<p>具体的な支援の内容 定期的に安否確認のために訪室し、バイタルチェック、食事、水分の提供、服薬介助を行っています。</p>
<p>利用者の主な日中の活動について</p>	<p>外部の日中活動サービス等の利用状況について (他の日中活動サービスの利用を妨げていないか)</p>	<p>外部の日中活動サービスの利用者人数 0名 主な外部の日中活動サービスの種類: 外部の日中活動サービスの利用ニーズを把握しているか:把握しています。 把握している場合今後の対応について 自立を目標に現在生活されている方がいらっしゃるの、本人の状態を見ながら、医療や関係機関と連携し対応できればと考えています。</p>
	<p>同一敷地内に設置した通所事業所について (該当する場合のみ記載)</p>	<p>事業所名: にじいろホーム瀬戸 サービス種別: 生活介護 利用定員:20名 事業所での日中活動の具体的な内容 体調管理、入浴、食事の提供 季節に応じた創作活動、レクリエーション、散歩、ドライブなど  日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 利用人数 20名 通所頻度 週に 5日程度</p>
<p>他の事業所との連携</p>	<p>相談支援事業所や外部の障害福祉サービス事業所との連携の状況について</p>	<p>具体的な内容な連携状況の事例を記入 定期的な担当者会の実施をしています。 急な体調悪化や、サービスに対して利用者からの希望があれば、その都度、相談支援事業者や関係機関と連携しています。</p>

地域に開かれた運営について	体験的な利用ニーズに対応しているか	<p>昨年度の体験利用人数 8 名</p> <p>体験利用の具体的な内容 生活介護の見学、短期入所の1泊2日の体験等を実施し、施設の雰囲気を見ていただく事で、今後の入所の選択肢として考えていただくことができるよう対応しています。</p>
	実習生やボランティアを受け入れているか。	<p>受入人数 2 名</p> <p>受入事例 学生のインターンシップの受け入れ。</p>
	地域住民やボランティア団体との交流の機会が確保されているか。	<p>具体的な内容 併設している生活介護事業所のフロアを、地域の方の百歳体操の会場として登録することになり、地域の方と交流する機会ができた。 虹の夢まつりを秋に行い、よさこい踊りや演奏会等、地域のボランティアの方に依頼し交流することが出来た。</p>
短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。☒	<p>年間の利用者数 8 名</p> <p>具体的な内容 施設見学行い、ご希望があれば体験入所を行い積極的に受け入れをしています。</p>
	緊急的利用のニーズに対応しているか。	<p>緊急受入人数 1 名</p> <p>緊急受入事例 ご家族の入院があり、ひとりでの自宅生活が難しいことから短期入所の受入れとなった。</p>

権利擁護について	<p>利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。</p>	<p>金銭管理の支援方法 有料での金銭管理を行っている。レシート管理、出納帳の記録を行い、ご家族あてに出納帳のコピーとレシートを郵送している。</p> <p>成年後見制度の利用支援及び利用者数 ・利用支援事例等(有)無) ・有の場合の支援内容記載(利用者数 2名)</p>
	<p>利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)</p>	<p>利用者に配慮した支援、取組み内容 個人情報の取り扱いは鍵のかかるキャビネットで保管し、持ち出しを制限する等厳重に取り扱っています。 ご家族、関係機関とも連携し、本人の意思で選び自己決定ができるよう信頼関係を築き環境を整えることが出来るよう努めています。</p> <p>具体的な内容</p>
自立支援協議会からの助言・要望への対応について	<p>昨年度助言や要望があった場合の具体的な対応内容 (初めて評価、報告を行う場合を除く)</p>	
その他	<p>親の高齢化やその他の事情等による親御さんへの対応</p>	<p>(EX:免許返納や元々車を持っていない等で自宅に帰省を希望される方への対応等) 自宅に帰省される時には現状ご家族が対応して下さっています。 今後、親御さんの高齢化に伴い、介護タクシー等の必要性も考えていきたいと思っております。</p>
	<p>抱えている課題</p>	<p>具体的な内容 支援スタッフの慢性的な人員不足があります。 障がいの専門知識をもつスタッフの育成も必要となっています。</p>